

施策評価シート

施策等名称	生活習慣	体系番号	0101010504
		主管課	健康づくり推進課

1 施策基本情報

現状と課題	<p>食べ過ぎや運動不足、生活リズムの乱れによる生活習慣病は、動脈硬化を進行させることがわかっています。メタボリックシンドロームのある高血圧や糖尿病などは、治療してもコントロールがうまくいかないなど問題となっています。生活習慣を改善させること、必要な治療を続けることが大切です。わかってもなかなか生活改善できないことが課題です。</p> <p>危険度を高める飲酒をしている人が増加しています。</p> <p>男性の喫煙率が減少していません。</p> <p>運動習慣のある人が減少しています。</p>
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	<p>バランスのとれた食事を規則正しく食べる、適正体重を維持する、適度な運動を行うことで、生活習慣病の発症と重症化を予防します。</p> <p>市民の皆さんが、健診を受けて、自分の健康状態について把握し、できることから生活習慣の改善に取り組めるようになることを目指します。</p>

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	40～64歳の肥満者の割合 男性	特定健診受診者でBMI25以上の割合(%)	27.00	27.00
②	40～64歳の肥満者の割合 女性	特定健診受診者でBMI25以上の割合(%)	14.40	15.00	15.00
③	40～64歳の運動習慣がある人の割合 男性	特定健診受診者のうち運動習慣があると答えた方(%)	31.70	43.30	43.30
④	40～64歳の運動習慣がある人の割合 女性	特定健診受診者のうち運動習慣があると答えた方(%)	27.90	36.80	36.80

施策の柱1	名称	栄養・食生活	主管課	健康づくり推進課			
	詳細	子どもの頃からの肥満は、将来、生活習慣病に結び付くことがあるとの報告があるので、こどもの肥満を減らすための食生活指導や食育推進事業を行います。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	40～64歳の肥満者の割合 男性	特定健診受診者でBMI25以上の割合(%)	27.00	27.00	1 食育事業	実施
	2	40～64歳の肥満者の割合 女性	特定健診受診者でBMI25以上の割合(%)	14.40	15.00	2 乳幼児健診事業	実施
	3					3	

基本政策間連携

施策の体系	名称	身体活動・運動	主管課	健康づくり推進課			
		詳細	一日に歩く歩数の不足や減少は、生活習慣病の発症、高齢者の自立度の低下等を引き起こします。健診を受けている人の調査では、運動習慣のある人が減少しているため、運動習慣づくりを推進します。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	40～64歳の運動習慣がある人の割合 男性	特定健診受診者のうち運動習慣があると答えた方(%)	31.70	43.30	1 健康づくり事業	実施
	2	40～64歳の運動習慣がある人の割合 女性	特定健診受診者のうち運動習慣があると答えた方(%)	27.90	36.80	2 特定健診事業	実施
	3					3 健康づくりポイント事業	実施

基本政策間連携

施策の柱3	名称	飲酒	主管課	健康づくり推進課			
	詳細	過度の飲酒は、生活習慣病の危険度と高めるため、適正飲酒についての指導を行います。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	過度の飲酒をしている人の割合 男性	40～64歳特定健診受診者 毎日2合以上の飲酒(%)	14.3	10.00	1 特定健診事業(再掲)	実施
	2	過度の飲酒をしている人の割合 女性	40～64歳特定健診受診者 毎日1合以上の飲酒(%)	6.60	4.00	2	
	3					3	

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	生活習慣	体系番号	0101010504
		主管課	健康づくり推進課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	施策の柱 4	名称	喫煙			主管課	健康づくり推進課	
		詳細	喫煙による健康被害を減らすために、特定保健指導等の機会に、禁煙に向けた支援を行います。					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	喫煙率 男性	特定健診受診者喫煙している人 (%)	25.30	17.00	1 特定健診事業(再掲)	実施	
					2 健康づくりポイント事業(再掲)	実施		
	2	喫煙率 女性	特定健診受診者喫煙している人 (%)	4.30	1.00	3		
					4			
	3				5			
					6			
	基本政策間連携							
施策の体系	施策の柱 5	名称	歯の健康			主管課	健康づくり推進課	
		詳細	う歯や歯周疾患による歯の喪失を防ぐため、子どもの頃からのう歯予防、成人期の歯周疾患予防を推進します。					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	歯周疾患検診受診率	歯周疾患受診者/対象者 (%)	7.70	25.00	1 歯科健診事業	実施	
					2 乳幼児健診事業(再掲)	実施		
	2				3 2歳児歯科健診事業	実施		
					4			
	3				5			
					6			
	基本政策間連携							
施策の体系	施策の柱 6	名称				主管課		
		詳細						
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	生活習慣	体系番号	0101010504				
		主管課	健康づくり推進課				

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	40～64歳の肥満者の割合 男性	27.00	27.40	32.10	32.70	31.00	32.00
1		27.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	男性の肥満者は、ぐくわずか増加してしまった。					
	2019年度	男性の肥満者の割合が増加している状況がある。40歳～64歳の男性の受診率は、前年度とほぼ同じ29.2%。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の肥満者は、ほぼ前年度並み。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の肥満者は、やや減少した。					
	2022年度	男性の肥満者は、増加してしまった。					
施策	40～64歳の肥満者の割合 女性	14.40	17.90	18.00	17.80	17.00	18.20
2		15.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	女性の肥満者は、増加してしまった。					
	2019年度	女性の肥満者の割合は、ぐくわずか増加している。40歳～64歳の女性の受診率は、前年度とほぼ同じ39.2%。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の肥満者は、やや減少。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の肥満者は、横ばい。					
	2022年度	女性の肥満者は、増加してしまった。					
施策	40～64歳の運動習慣がある人の割合 男性	31.70	31.10	31.70	31.20	30.50	34.70
3		43.30	71.82	73.21	72.06	70.44	80.14
変動要因等	2018年度	運動習慣のある男性の割合は、やや減少している。					
	2019年度	運動習慣のある男性の割合は、前年度とほぼ変わらなかった。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある男性の割合は、前年度とほぼ変わらなかった。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある男性の割合は、やや減少。					
	2022年度	運動習慣のある男性の割合は増加したが、目標値に達成していない。					
施策	40～64歳の運動習慣がある人の割合 女性	27.90	27.30	29.40	28.80	26.80	27.20
4		36.80	74.18	79.89	78.26	72.83	73.91
変動要因等	2018年度	運動習慣のある女性の割合は、やや減少している。					
	2019年度	運動習慣のある女性の割合は、増加した。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある女性の割合は、前年度よりもやや減少。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある女性の割合は、前年度よりもやや減少。					
	2022年度	運動習慣のある女性の割合は増加したが、目標値に達成していない。					
柱1	40～64歳の肥満者の割合 男性	27.00	27.40	32.10	32.70	31.00	32.00
1		27.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	男性の肥満者は、ぐくわずか増加してしまった。					
	2019年度	男性の肥満者の割合が増加している状況がある。受診率は、前年度とほぼ同じ29.2%。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の肥満者は、ほぼ前年度並み。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の肥満者は、やや減少した。					
	2022年度	男性の肥満者は、増加してしまった。					
柱1	40～64歳の肥満者の割合 女性	14.40	17.90	18.00	17.80	17.00	18.20
2		15.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	女性の肥満者は、増加してしまった。					
	2019年度	男性の肥満者の割合は、ぐくわずか増加している。受診率は、前年度とほぼ同じ39.2%。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の肥満者は、やや減少。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の肥満者は、横ばい。					
	2022年度	女性の肥満者は、増加してしまった。					

柱2		31.70	31.10	31.70	31.20	30.50	34.70
1	40～64歳の運動習慣がある人の割合 男性	43.30	71.82	73.21	72.06	70.44	80.14
変動要因等	2018年度	運動習慣のある男性の割合は、やや減少している。					
	2019年度	運動習慣のある男性の割合は、前年度とほぼ変わらなかった。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある男性の割合は、前年度とほぼ変わらなかった。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある男性の割合は、やや減少。					
	2022年度	運動習慣のある男性の割合は増加したが、目標値に達成していない。					
施策等名称	生活習慣	体系番号			0101010504		
		所管課			健康づくり推進課		

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱2		27.90	27.30	29.40	28.80	26.80	27.20
2	40～64歳の運動習慣がある人の割合 女性	36.80	74.18	79.89	78.26	72.83	73.91
変動要因等	2018年度	運動習慣のある女性の割合は、やや減少している。					
	2019年度	運動習慣のある女性の割合は、増加した。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある女性の割合は、前年度よりもやや減少。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、運動習慣のある女性の割合は、前年度よりもやや減少。					
	2022年度	運動習慣のある女性の割合は横ばいで、目標値に達成していない。					
柱3		14.30	13.10	11.38	11.30	11.20	12.30
1	過度の飲酒をしている人の割合 男性	10.00	27.91	67.91	69.77	72.09	46.51
変動要因等	2018年度	過度の飲酒の男性は減少した。					
	2019年度	前年度に引き続き、過度の飲酒の男性は減少している。					
	2020年度	前年度に引き続き、過度の飲酒の男性は減少している。					
	2021年度	前年度に引き続き、過度の飲酒の男性はやや減少している。					
	2022年度	過度の飲酒の男性は増加してしまった。					
柱3		6.60	5.60	6.25	5.40	6.50	7.10
2	過度の飲酒をしている人の割合 女性	4.00	38.46	13.46	46.15	3.85	(19.23)
変動要因等	2018年度	過度の飲酒の女性は減少した。					
	2019年度	前年度よりも過度の飲酒の女性がやや増加している。					
	2020年度	過度の飲酒の女性は減少した。					
	2021年度	過度の飲酒の女性は増加した。					
	2022年度	過度の飲酒の女性は増加してしまった。					
柱4		25.30	23.40	22.80	21.40	19.90	20.10
1	喫煙率 男性	17.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	男性の喫煙率は、やや減少している。					
	2019年度	前年度よりも男性の喫煙率は、やや減少している。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の喫煙率は、減少。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、男性の喫煙率は、やや減少している。					
	2022年度	男性の喫煙率は、横ばいの状況。					
柱4		4.30	3.90	4.50	4.60	4.40	4.80
2	喫煙率 女性	1.00	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
変動要因等	2018年度	女性の喫煙率は、やや減少している。					
	2019年度	女性の喫煙率は、率は少ないものの、前年度よりも増加している。					
	2020年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の喫煙率は、増加。					
	2021年度	コロナの影響で受診者が減少したが、女性の喫煙率は、やや減少している。					
	2022年度	女性の喫煙率は、増加してしまった。					

柱5		7.70	11.50	11.80	14.00	14.80	16.50
1	歯周疾患検診受診率	25.00	46.00	47.20	56.00	59.20	66.00
変動要因等	2018年度	対象者全員に案内をしているが、期間の途中で未受診の方へ受診勧奨通知を送ったため、増加した。					
	2019年度	前年度同様の取組を行い、受診率はやや増加している。					
	2020年度	対象者の変更を行い、70歳を追加し、5歳刻みを廃止したことで、受診率が上がった。					
	2021年度	前年度同様の取組を行い、受診率はやや増加している。					
	2022年度	受診率は増加しているが、目標は達成していない。					

施策等名称	生活習慣	体系番号	0101010504	
		主管課	健康づくり推進課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)		
投資額	事業費(円)	13,363,023		15,694,457	1.17	16,415,639	1.05	49,002,722	2.99	50,916,162	1.04	
	うち一財(円)	9,757,857		10,096,623	1.03	10,966,576	1.09	11,576,121	1.06	12,301,511	1.06	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合 に記載)							予算の組替あり				
進捗評価		遅れている		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		やや遅れている		
総合評価	主な取組内容や成果	特定健診受診者に、健診結果の説明をしながら、生活習慣の改善についての指導を行った。		昨年度に引き続き、特定健診受診者に、健診結果を説明しながら、日頃の生活習慣についての指導を行った。運動習慣のある人は、増加した。男性の飲酒や喫煙の割合はやや減少した。歯周疾患検診の受診率はやや増加した。		新型コロナの影響があったが、特定健診や歯周疾患検診を実施することができた。歯周疾患検診は、受診率が上がっている。		新型コロナの影響があったが、特定健診や歯周疾患検診を実施することができた。		(R4評価) コロナの影響もあったが、特定健診や保健指導を例年どおり行った。メタボリックシンドローム該当者には、適正体重や生活習慣についての保健指導を教材を工夫して行っている。 (総括評価) 生活習慣の改善についての指導を行った。		
	課題	生活習慣の改善に取り組む、減量できたり、データが改善している人もいるが、なかなか改善できない人が多く、成果が上がらない。		肥満の割合が、増加している。女性は、率が少ないものの反対に増加している。		新型コロナの影響もあり、特定健診の期間が短縮されてしまった。受診者が減少してしまった。喫煙率が男女ともに増加している。		新型コロナの影響もあり、特定健診の集団が中止となり、受診者が減少してしまった。		(R4評価) 男性も女性も肥満の割合が増加している。運動習慣がある人の割合は、コロナ過で減少し、また増えて来たものの目標値には達していない。 (総括評価) 生活改善の必要な人が、増加している。		
改革・改善	改革・改善内容		保健指導については、からだの中でどのようなことがおきているかなどの資料を使い指導を行っていく。保健指導の学習会を継続して行う。		質の高い保健指導をするため、担当者全員の学習を引き続き行っていく。		コロナの影響はあるものの、まず、健診を受けていただくことから始まるので、健診の機会を確保するようにしていく。また、肥満者が減少していないので、保健指導についても力量形成を図っていく。		コロナの影響はあるものの、まず、健診を受けていただくことから始まるので、健診の機会を確保するようにしていく。また、肥満者が減少していないので、保健指導についても力量形成を図っていく。		(R4評価) まず、健診を受けていただくように受診動員に力を入れていく。肥満が増加している現状なので、保健指導についても力量形成を図っていく。 (総括評価) 生活改善が必要な人が多いため、保健指導についても力量形成を図っていく。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2		2		2		2		2	
		重点事務事業	2		2		2		2		2	
理由		健診結果をもとに保健指導を行い、生活習慣の改善、必要な治療につなげることができ、生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげられる。		健診結果をもとに保健指導を行い、生活習慣の改善、必要な治療につなげることができ、生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげられる。		健診結果をもとに保健指導を行い、生活習慣の改善、必要な治療につなげることができ、生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげられる。		健診結果をもとに保健指導を行い、生活習慣の改善、必要な治療につなげることができ、生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげられる。		健診結果をもとに保健指導を行い、生活習慣の改善、必要な治療につなげることができ、生活習慣病の発症予防や重症化予防につなげられる。		